

農業用ため池（湯谷池）において生き物調査を実施しました。

行事内容

平成21年10月18日（日）午前8時から湯谷池（揖斐川町谷汲）において、生き物調査を実施しました。

湯谷池は古くから農業用ため池として利用されてきましたが、最近になって外国の魚が侵入・定着したため、平成18年にため池管理者が外来魚駆除活動を行いました。

今回は外来魚駆除活動から3年が経過し、現在の状況を把握するため、ため池管理者や地域住民の方々と一緒に生き物調査を行いました。

主催者

湯谷ため池管理組合、府内資源保全隊、岐阜県揖斐農林事務所

参加者

ため池管理者（湯谷ため池管理組合）

府内資源保全隊

地域住民

岐阜県土地改良事業団体連合会

揖斐川町職員

岐阜県職員

計27名

捕獲した生き物

ドジョウ 約300匹

ヨシノボリ 3匹

スジエビ、イモリ、ヤゴ、サワガニ、カメも捕獲されました。

捕獲後、下流の河川へ放流しました。

調査の結果、外来魚の生息は確認されませんでした。

3年前の外来魚駆除活動により、外来魚の完全駆除が実現されました。

協賛行事

この活動は、「第30回全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会～」の協賛行事及び「COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）」のパートナーシップ事業に登録しています。



活動の様子



河川環境研究所 大原研究員による環境教育の様子

